

沿革

2006年 5月 人材育成を担うSBIユニバーシティ株式会社 設立 大学院大学設立準備	2015年 7月 「SBI-Uベンチャーチャレンジ制度」開設
2007年 4月 文部科学省に大学院大学設置を申請 12月 文部科学省より学校法人SBI大学設立の認可取得	2016年 4月 キャンパス移転（東京都・丸の内） 10月 演習科目「組織変革演習」開講 SBI大学院大学金融研究所 設置
2008年 4月 SBI大学院大学 開校（神奈川県・横浜）	2018年 4月 SBI大学院大学設立10周年
2009年 9月 「授業料減免制度」導入	10月 演習科目「修論ゼミ」開講
2010年 3月 第1期生修了 4月 科目等履修生制度（単科コース）開設	2021年 4月 キャンパス移転（東京都・六本木） SBI大学院大学金融研究所 再編 (SBI金融経済研究所(株)に移管)
2011年 4月 「長期履修制度」導入 10月 「ディプロマコース」（現・Pre-MBAコース）開設	

大学院の概要

名 称	SBI大学院大学
学 長	藤原洋
研究科・専攻	経営管理研究科・アントレプレナー専攻
大 学 の 形 态	専門職大学院(通信教育)
修了後の学位	MBA:経営管理修士(専門職)
最低修業年限	2年
設 置 者	学校法人SBI大学
理 事 長	北尾吉孝
U R L	www.sbi-u.ac.jp
所 在 地	〒106-6021 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階 南北線「六本木一丁目」駅直結

入学に関するお問合せ

[大学事務局] 受付時間(平日)
9:00~18:00 TEL 03-6229-1175 admin@sbi-u.ac.jp

2021.08版

SBI GRADUATE SCHOOL GUIDE BOOK

SBI大学院大学／学校案内



真のリーダーへ 「人間力」を高める MBA大学院

SBI大学院大学は、文部科学省より認可を受けた通信性（オンライン）の専門職大学院です。

修了時には、MBA【経営学管理修士（専門職）】を取得することができます。

人間学を礎に、経営に必要な実践学を学べるビジネススクールとして次世代リーダーを輩出しています。マルチデバイスに対応したオンライン学習システムを採用し、科目的受講や課題の実施などはすべてオンラインで完結できます。また、東京キャンパスやWeb会議システムを活用したディスカッションやプレゼンテーションなどインタラクティブな学びの場もあります。時間や場所に縛られず、効果的な学びを実現するSBI大学院大学だからこそ、ビジネスパーソンの仕事と学習の両立を可能にします。



次世代を担う起業家やリーダーに必要な資質とは

会社を経営することも事業を構築することもどちらも“人間の営み”です。これまで様々な企業を見、多くの経営の方にお会いする中で、また私自身の経験から、経営者にとって最も大切なことは“人間学”を学ぶことであると、強く実感しています。

事業は決して一人ではできません。多くの人の共感を得て、同じベクトルを持って力を合わせて進んでいく、“志念の共有化”がないと事業は成功しないのです。つまり、経営者の人間的魅力こそが事業を成功させる上で最も大切なことだと考えています。

「徳は孤ならず、必ず隣あり」『論語』にもあるように、徳のある人間は決して孤立するものではなく、必ず共鳴者、理解者が現れるものなのです。

この人間学の必要性については、経営者だけでなく、リーダーシップが求められる立場の組織人も同様です。もちろん、人間学だけを学べばよいというわけではありません。時流を捉えた実践的経営学、つまり“時務学”を知識や技術として習得することも必要なのです。

本大学院では、これら“人間学”と“時務学”的双方を学ぶ機会を提供し、物事の本質を見抜く力、時代を予見する先見性や大局的な思考、そしてぶれない判断軸を涵養し、新たな社会を切り開く次世代リーダーの育成に努めて参ります。志のある皆様とともに学べることを楽しみにしています。

学校法人SBI大学 理事長

SBIホールディングス株式会社 代表取締役社長（CEO）

北尾 吉孝



アントレプレナーシップとリーダーシップのための学びの場

SBI大学院大学では、起業家とリーダーを育成することに照準を定めたカリキュラム構成しています。具体的には、戦略・マーケティング、組織・人的資源、金融・財務、経営数理・問題解決、企業倫理・経営思想、グローバル・ビジネス、演習という区分に体系化すると共に、本大学院の特徴として企業倫理・経営思想に重点を置き、全区分において社会での実践経験を積んだ教授陣を揃えています。

本大学院の基礎的なスキルの習得については、多忙なビジネスパーソンを対象とするためeラーニングを前提としています。そのためインターネットを前提とした情報収集力と発信力が、いつの間にか向上するということで好評を得ています。

また演習にも注力しています。例えば事業計画演習では、様々な専門スキルや経験を有する教授陣によるインタラクティブな指導に加えて、ベンチャーキャピタリストなど外部の専門家を招聘した成果報告会を開催しています。この成果報告会が、大学院修了へのクライマックスと言えます。これらの本大学院ならではの取組みによって、これまで、多くの起業家とビジネスリーダーを輩出していました。

日々の厳しいビジネスをこなしながら、人間学を通じて、経営学を学ぼうとする高い志を持った皆様の入学をお待ちしています。



SBI大学院大学 学長

株式会社インターネット総合研究所 代表取締役所長

藤原 洋

多忙なビジネスパーソンに 適した学習スタイル

忙しいあなたの学習を、
「Web」と「リアル」で全方位から
サポートします。

MY STYLE

いつでも、どこでも、
自分のスタイルで学べる



マルチデバイスに対応した
オンライン学習システム

SUPPORT

ラーニングスタッフによる、
きめ細やかな学習サポート



学習状況の確認や履修相談など、
専任スタッフによる
サポート体制の充実

INTERACTIVE

インタラクティブな
学習による深い学び



オンライン学習システムや
Web会議、対面授業での
ディスカッションやプレゼンテーション

FOR ALUMNI

修了後も繋がり続ける、
学びの輪

オンラインだからこそ多様な人脈形成が可能となり、修了後も学びを継続させる環境が整っています。また、SBIグループを中心とした多角的な事業支援を受けられる機会があります。

01 修了生のコミュニティネットワーク

OB会（修己会）をはじめとして様々なコミュニティがあり、教員や外部の起業家、ベンチャーキャピタリストなどを講師に招いた勉強会など各種イベントを行っています。

02 継続教育のための優待制度

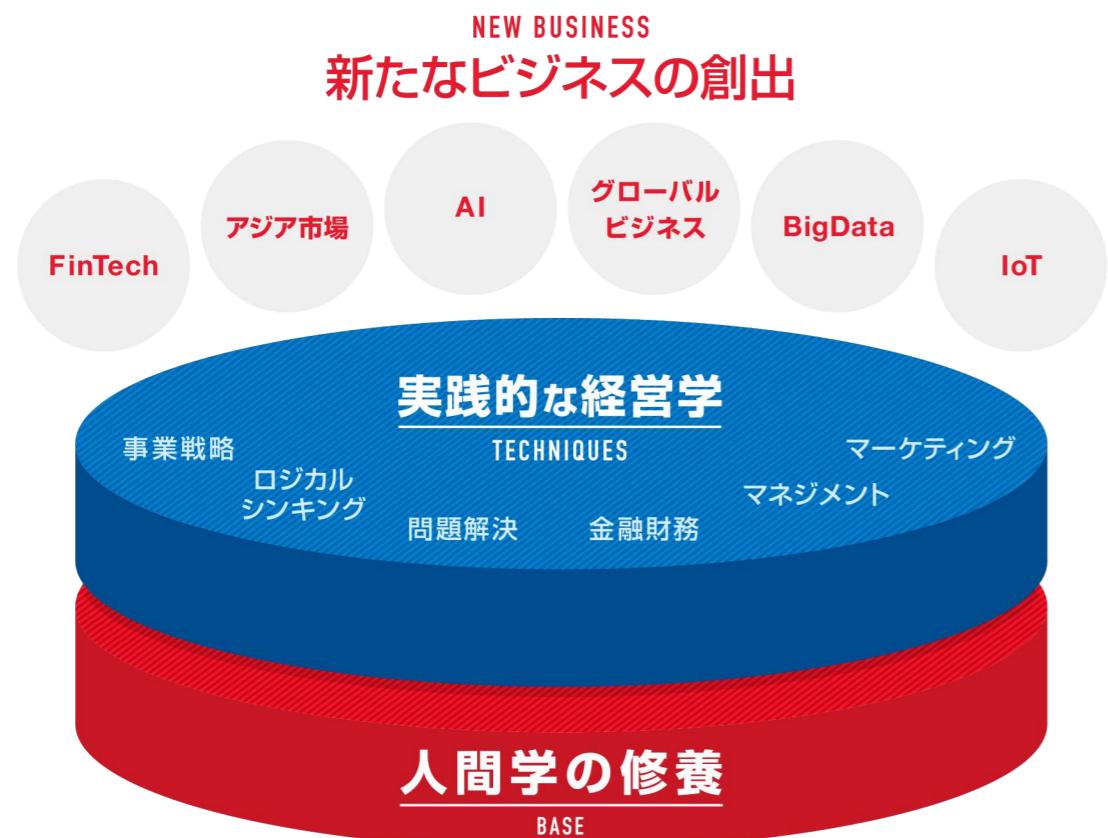
修了生を対象に安価で受講できる聴講制度を設け、修了後も本大学院の授業を通して継続的に学ぶことができます。

03 SBIグループからの出資

“起業支援”修了生の事業支援を目的とした審査、推薦を実施する「SBI-U ベンチャーチャレンジ制度」など、SBIグループの強みを生かしたサポート制度があります。



SBI大学院大学の3つの特徴



01 経営に求められる人間学の探求

中国古典を現代に読み解き、「物事の本質を見抜く力」「時代を予見する先見性」「大局的な思考」を身に付け、次世代を担う起業家・リーダーに求められるプレない判断軸をつくります。

03 学びの集大成としての事業計画策定

MBAプログラムでは学びの集大成として、事業計画の策定およびプレゼンテーションを修了演習で行います。少人数制のゼミ形式できめ細やかにサポートし、実現性の高い事業計画書を作成します。

02 テクノロジートレンドの研究と活用

グローバルに活躍する実務家教員による先端技術の事例研究を行い、講義や一般向けのセミナーなどを通して研究成果を公開します。

① 事業計画演習

実現を視野に入れた事業計画書を作成し、教員や投資家に向けたプレゼンテーションを行います。

② 組織変革演習・修論ゼミ

実際の組織の課題に取り組み、成果を上げることを目的とする「組織変革演習」や、専門分野の研究成果を論文として完成させる「修論ゼミ」も選択できます。

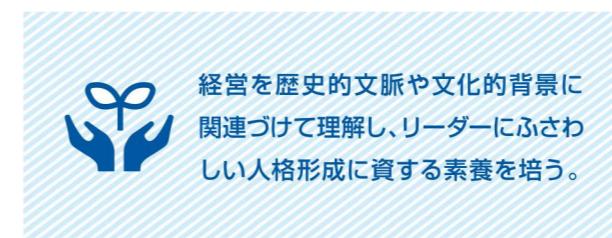
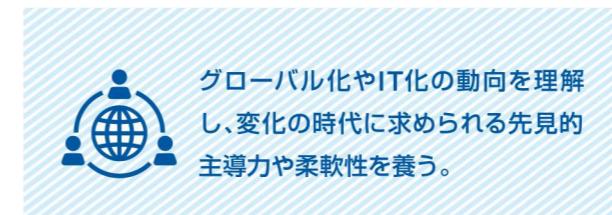
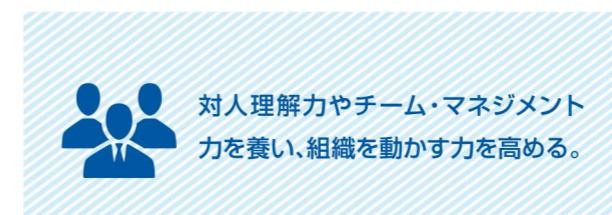
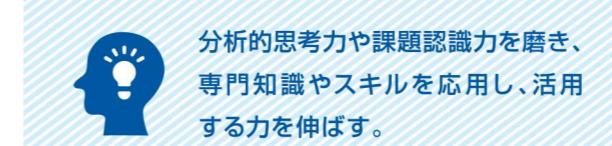
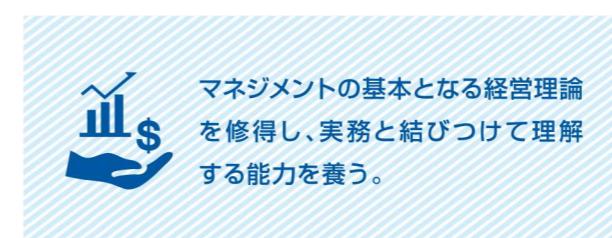
③ 少人数による実践的指導

少人数制だから、専門性の高い教員と事業化を進める学生たちとの深い学び合いが可能です。

教育理念

教育研究上の5つの学習目標

本大学院の「教育研究上の目的」は、『経営管理に関する理論と実務を融合させた教育研究を通して、高度な専門的知識、的確な判断能力、対人対応力、自己管理能力及び倫理観を備え、グローバル社会で新たな事業を創出し持続可能な発展を実現するためのリーダーシップを発揮できる高度専門職業人を養成する』ことにあります。本大学院では「研究教育上の目的」に掲げる人材を養成するため、次の5つの「学習目標」を定めています。



3つのポリシー

01 アドミッション・ポリシー 求める学生像

- 「教育研究上の目的」を踏まえ、本大学院では、次のような学生を求めています。
- 既に起業している社会人、及び新たな事業の創出を目指す社会人
 - 組織内で、新たな市場の開拓や新たな事業の創出を通じて、キャリアアップを目指す社会人
 - グローバルな環境の中で、リーダーシップを備えた高度な職業人として活躍することを目指す社会人

02 カリキュラム・ポリシー 教育課程編成・実施の方針

本大学院では「教育研究上の目的」の達成のため、次のような方針でカリキュラムを編成しています。

経営管理に必要な知識を体系的に学習できるように、「戦略・マーケティング」、「組織・人的資源」、「金融・財務」、「経営数理・問題解決」、「企業倫理・経営思想」、「グローバル・ビジネス」の科目群を設ける。

各群には、必修科目を含むコア、応用、発展の3段階で有用な科目を配置して、学習者が知識・経験に応じて必要な科目を柔軟に選択できるようにする。

また、学んだことを実際の現場で実践し、他の学習者との討議を通して理解を深め、習得を図ることで、高度専門職業人に求められるコンピテンシー（行動特性）を高められるようにする。

03 ディプロマ・ポリシー 学位授与方針

- 本大学院では、2年以上在学し、かつ必修科目を含め修了に必要な単位以上を取得するとともに、以下の要件を満たす学生に対して経営管理修士（専門職）の学位を授与します。
- 経営管理の専門分野での学術水準の理論を修得、ビジネスや経営の問題解決に応用できること
 - 高度専門職業人に求められる主要なコンピテンシー（行動特性）を高いレベルで有していること

ニーズに合わせた3つの学習コース

SBI大学院大学では、1年を春学期(4月～8月)と秋学期(10月～2月)の2学期に分けた「セメスター制」を導入し、さらに学期ごとに「通期」「前期」「後期」に分けたカリキュラムを編成しています。

MBA本科 コース (正科生)

[MBA取得] [修業年限2年] [1週間の学習目安20h~]

SBI大学院大学のMBA本科では、“働きながらMBAを取得できる”学習システムを備えています。経営学を体系的に学ぶだけでなく、人間学を探求することでリーダーに求められる資質を身につけるカリキュラムを編成しています。



働きながらMBAの取得ができる



経営学だけではなく人間学の修養も



事業計画が授業の題材になる実践的な学び



志高き仲間と築ける生涯のネットワーク

科目区分

戦略・マーケティング／組織・人的資源／金融・財務／経営数理・問題解決／企業倫理・経営思想／グローバル・ビジネス／演習

充実のサポート制度 (MBA本科コース対象)

01 長期履修制度

長期履修制度を使うと、通常2年間の履修期間を5年まで延長することができます。各人の事情や環境の変化に柔軟に対応できる制度です。

通常2年の
「MBAプログラム」

→ 5年まで
延長可
学費は2年分

02 学費サポート制度

① 早期出願による入学金免除制度

1次募集期間に出願・入学される方は、入学金が全額免除となります。

② ライフステージの変化に対する授業料減免支援制度

出産、育児および介護休業中のスキルアップを応援する制度です。

③ 外国籍者支援制度

グローバル化の促進を図ることを目的に設立した制度です。

④ 成績優秀者支援制度

入学試験の成績および本人を含む生計維持者の所得額によって授業料を減免する制度です。

⑤ シングルペアレントに対する授業料減免制度

シングルペアレント（母子家庭の母または父子家庭の父であって、児童（20歳に満たない者）を扶養している方）を対象に授業料を減免する制度です。

※学費サポート制度は適用延長が可能です

各サポート制度の授業料減免は通常1年次の学費を対象としますが、1年次の成績が優良な場合(GPA3.2以上)は2年次にも継続適用が可能です。



2年最大
112万円

給付

Pre-MBA コース

[2,3科目選択] [1週間の学習目安8h~]

働きながら学べるか不安、修了までの学費を考えるとなかなか決断できないなど、MBAの取得は考えていても、いきなりMBA本科へ入学するのはちょっと…という方のために、ビジネスパーソンとして獲得しておくべき必須スキルから学べるPre-MBAコースがあります。

MBA必修科目*から必修スキルを習得

効率的な学習時間で学習スタイルを確立

単位の移行など本科への編入がスムーズ

4単位セットの履修で授業料の減免

*対象科目はMBA必修科目を中心に構成されています。

対象科目 マーケティング／ファイナンス／オペレーションズ・マネジメント／問題解決技法（各2単位）
財務会計／管理会計（各1単位、2科目セット）

MBA単科 コース (科目等履修生)

[1科目から選択] [1週間の学習目安4h~]

MBA単科では、MBA本科の豊富な科目の中から1科目を選択します。
取得した単位はMBA本科へ移行できますので、MBAの授業を実際に体験した上でMBA本科出願の意思決定することができます。

MBA本科の科目から必要な科目を選択

単位の移行など本科への編入がスムーズ

ビジネストレンドを取り入れた実践的科目群

- IoT・Big Data・AIの概要と事業化
- 人工知能（フィンテック）
- M&Aの理論と実践など

年4回開講 ①4月開講（春通期・春前期） ②6月開講（春後期） ③10月開講（秋通期・秋前期） ④12月開講（秋後期）

よくあるご質問

入学について

Q どんな方が入学されていますか？

A 起業を目指す方、中小企業の経営者、大企業の幹部候補生だけでなく、一般の会社員や自営業の方まで幅広い層の方が入学して経営の勉強をされています。

Q 起業をするつもりはありませんが、一般の会社員でも経営の勉強はできるのでしょうか？

A 起業家向けの科目だけでなく、企業の中でのマネジメントスキル、経営スキルを高める授業も用意されています。問題解決力、ビジネスモデルを設計する力、プロジェクト管理の技法などは起業家を志す方だけでなく、企業の中で活躍される幹部候補の方にもぜひ身につけて頂きたいスキルです。このような授業を幅広く用意しています。

Q 経営については素人ですが、入学して授業についていけるでしょうか？

A すべての授業は論理的で系統だって学べるようになっています。授業ごとに参考図書が紹介されていますので事前に予習しておくことでさらに理解度を深めることができます。わからないことがあれば、教員への質問ができます。

Q 大学を卒業していないが入学できますか？

A 文部科学省の基準緩和によって大学卒業資格を持っていない方も受験が可能になりました。本大学院が行う個別の入学資格審査により、大学を卒業したと同等以上の学力があると認められた者で 22 歳に達した者などが入学可能です。詳細は大学事務局までお問い合わせください。

Q 海外での受講は可能ですか？

A インターネット環境が整っていれば、基本的にどこでも受講することが可能です。

※ 海外でご利用の場合は、国毎のネットワーク通信やインフラ事情により受講ができない場合がございます。事前にご確認のうえご利用ください。

受講について

Q 授業はどのように行われるのですか？

A 1回の授業は60～90分程度の講義動画視聴と30～60分程度の課題で構成されています。科目によっては集合型の対面授業を行います（Web参加可能）。掲示板にて質疑応答ができるほか、理解度を測定する小テスト、レポートの提出、学期の最後には期末テストなどが実施されます。

Q スマートフォンやタブレットなど、モバイル端末の視聴による受講は可能ですか？

A 日々の仕事が忙しい方のために、通勤や移動中でも学習できるようスマートフォンやタブレットなど、モバイル端末による受講が可能です。

※課題の提出は PC 端末を利用することを前提としています。

Q 成績はどのようにして決まるのですか？

A 出席率、小テスト・期末テスト・レポートの結果、ディスカッションの内容等により決まります。

Q 仕事が忙しくなった場合、途中で休学することはできますか？

A 病気や仕事の都合により一時的に修学できなくなった場合は、休学が可能です。この場合は、休学届けを提出し、許可を得る必要があります。なお、休学期間中の授業料の取り扱い及び在籍期間の取り扱いについては、事務局にお問い合わせください。

Q 取得単位数によって費用は変わりますか？

A 変わりません。取得した単位数に限らず授業料は修了まで 240 万円と定額です。最大 52 単位まで取得可能となります。

Q 英語での授業はありますか？

A ありません。基本的に授業は日本語で行われます。外国籍の方は、日本語能力検定 1 級程度を目指してください。

入試について

Q 入試はどのような形式ですか？

A 本科コースは論文審査と面接審査があります。論文は出願時にテーマに沿った小論文を提出頂き、後日 30 分程度 2 対 1 で面接を実施します。単科コース、Pre-MBA コースは入試がありません。

Q 私は論文を書いたことがありませんので、論文審査に不安があります。

A 論文を書く技法などはこだわりません。ご自身の意見をお持ちであること、それを筋道を立てて結論まで書くことができればきちんと審査します。小論文は 1 テーマあたり 1200 字程度、2 間出題されます。

Q 地方に在住しており仕事が忙しいので、面接のために東京まで行くことができないのですが、何か方法はありますか？

A お住いの地域で面接をご希望の方は、オンライン会議システムで面接を実施させて頂きますのでご相談ください。

Q 結果はどのようにわかりますか？

A 各期の合格発表当日に、メールと郵送で合否通知が送付されます。合格不合格関わらずご連絡させて頂きます。補欠合格の場合は後日結果を通知させて頂きます。

修了について

Q 修了後に得られる学位は何ですか？

A 「経営管理修士（専門職）」です。英語表記の略字では「MBA」となります。最終学歴は大学院卒業です。

Q 修了要件について教えてください。

A 必修科目及び選択必修科目 34 単位以上の単位取得が条件となります。

Q 単科コースや Pre-MBA コースで取得した単位は持ち込めますか？

A はい、事前に取得した単位は本科コースへ入学頂いた際に移行することができます。修了に必要な 34 単位に換算でき、単位の有効期限はありません。

Q 2 年間で修了できない場合、何年間で在籍できるでしょうか？

A 5 年間で在籍可能です。なお、仕事や育児などのため、学習時間に著しい制約を受けるなどのやむを得ない事情がある場合には、標準履修期間である 2 年間を 5 年間まで延長できる長期履修制度を利用することもできます。

Q 修了後の交流はありますか？

A 修了生有志の組織として「修己会」があります。OB 同士で学びや懇親を目的としたイベント開催も行っていますので、引き続き繋がりを作っていくことができます。また、学内のイベントも参加可能ですので、興味があれば是非参加してください。

修了生・在校生の声

何事にも怯まず、まずは行動を起こして立ち向かうことの大切さを学びました。

本大学院を選んだ理由を教えてください

本学が自分の時間的都合に合わせて最も学びやすいと考えたからです。他学ではオンライン授業であっても時間割り通りに受講しなければならないところもありました。私は国内外の出張が多かったので、日本の時間割りに合わせた受講が難しいと判断し、自分で受講時間をコントロールできる本学を選びました。

仕事と学習の両立、どのように時間を活用していますか

平日は夜に集中して1日3~4時間程度学修し、その他は土日で時間を取ることが多かったです。2科目ずつくらい学修していました。

入学後の変化を教えてください

決まった答えが無い課題にも怯まず行動を起こして立ち向かうことの大切さを学び、会社業務においてもその経験を活かすことができました。

PROFILE
早稲田大学卒業後、東洋電機製造株式会社へ入社。主に海外営業に従事する傍ら、産業能率大学、日本大学通信教育部を卒業。2014年タイ(バンコク)に駐在員事務所を設立し所長として赴任。2019年4月本学の本科コースに入学。同6月にタイ現地法人Siam Toyo Denkiを立ち上げ経営に当たる。2年間で60単位を取得し、本学修了時に敢闇賞を受賞。



金子 崇
さん

2021年3月MBA本科コース修了
Siam Toyo Denki Co., Ltd.
Managing Director

自分の強み弱みを改めて認識することで仕事に迷いがなくなった。

本大学院を選んだ理由を教えてください

自分のライフスタイルに合わせ、学習できる点が魅力的。また、MBA取得のみならず修了後にSBIホールディングスの支援が受けられる点においても、起業家に最適な大学院だと思います。

仕事と学習の両立、どのように時間を活用していますか

仕事を並行してスケジューリングするのは決して楽ではありませんが、平日のスキマ時間や、仕事がない休日に集中して講義視聴しています。

入学後の変化を教えてください

経営者としての視野が広くなりました。テクニック的な要素だけではなく、まず人としてどうあるべきか。今後、自分自身が目指す理想のリーダー像が見えてきました。

PROFILE
1992年に10万人に一人が発症すると言われる難病の脊髄性筋萎縮症との診断を受ける。障害区分は認定の最重度区分6で肢体不自由で寝たきり、全身で動くのは、指先が数センチだけだが、話すことは可能な状況である。2010年に愛知県立港特別支援学校高等部を卒業。同じ難病を抱える友人と二人で2011年に19歳で名刺とWEBサイトを作成する「株式会社仙拓」を立ち上げる。



佐藤 仙務
さん

2019年3月MBA本科コース修了
株式会社仙拓 代表取締役社長

哲学的思考力を身につけることは、表面上の問題解決に終始しないために最も重要な要素。

仕事と学習の両立、どのように時間を活用していますか

通勤時間が長く、また出張も多いので、移動中に講義の視聴と文献調査を行うことを前提に受講スケジュールを組んでいます。海外との連絡の関係で早朝に出社している分、終業後は可能な限り直ちに帰社して勉強の時間を確保するよう心がけています。

また、同期入学の有志や同業種の学生たちとSNSで交流を深め、かつ勉強会(兼・懇親会)を定期開催して、同じ環境下にいる者同士で励まし合って勉学へのモチベーションの維持に努めています。

入学後の変化を教えてください

仕事と学問の両立のための工夫の結果、時間あたりの業務効率が上がったと感じています。実務に関してもベースの科学者としての考察に加えて、より俯瞰的視点から開発プログラムの課題を広く見出して、問題が生じる前に具体的な手を打つことができるようになったと感じています。

PROFILE
1976年生まれ。2006年博士(薬学)取得。2001年入社から十数年、研究員として新薬の研究開発を担当。2015年より研究職よりマネジメント担当の部署に異動し、現在は新薬の開発戦略の立案と実施を担当。

学びを実践力に昇華させることで日々成長しています。

本大学院を選んだ理由を教えてください

教員が実際のビジネスパーソンであり、生きた経営を学べるだけでなく、経営者や実務家との意見交換の場があり、それを積極的に活用することで新たな発想が生まれ、視野を広げることができますに魅力を感じました。また、ディスカッションを通してできる外部人脈が、教育事業の発展にとってプラスになると期待したからです。

入学後の変化を教えてください

「人間力」と「成果を上げる力」が鍛えられたことだと思います。常に「品格」を意識し、磨く努力をするようになりました。仕事をする上で「人材を活かし個々のパフォーマンスを最大化するためにはどうすべきか」を考えながらチームを編成し仕事を任せたり、成果が上がってきた感じました。自分の成長が部下の成長に繋がったと感じています。

PROFILE
1970年岡山県生まれ。1992年法政大学文学部英文学科卒業。1994年学校法人本山学園に入職。2006年1月学校法人本山学園 副理事長に就任、同年西日本調理製菓専門学校 副校長に就任。2008年6月学校法人岡山県専修学校各種学校振興会(現一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会)副会長に就任。



坂本 一樹
さん

2017年9月MBA本科コース修了
内資系製薬会社 管理職



本山 康代
さん

2017年9月MBA本科コース修了
学校法人本山学園 副理事長

修了生・在校生の声

理論は実践してはじめて意味があり
それが「経営力」につながる。

印象に残っている科目を教えてください

特に事業計画演習の講義では、理論と実践の両方を深く学ぶことができました。学んだことを活かして、自身の事業で実践することで、税理士としてのアドバイスに説得力が増したと思います。

人間学から学んだことが、現在どのように活かされていますか

私は、「いい仕事をして、結果として儲かる」ということが大切だと考えています。この「いい仕事」と「儲かる」の両方を実現できるかどうかが社長の手腕です。社長の仕事は、企業の方向付け、資源の最適配分、そして、人を動かす、この3つです。最後の人を動かすという点では、人間学が大いに活かされていると思います。まずは、社長自身が尊敬される人物になること。尊敬できない社長には誰もついていきません。人間学で学んだ「どんなリーダーならついていきたいか」この考え方が活かされていると思います。

PROFILE
1972年、栃木県生まれ。簿記学校最大手の大原簿記学校で簿記講座を中心に約10年講師を務めた後、税理士の道へ。儲かるための「経費」の考え方・使い方を、主に中小企業向けにアドバイスを行う。SBI大学院大学修了時には、北尾吉孝学長賞を受賞。著書／ダンゼン得する知りたいことがパッとわかる経費になる領収書ならない領収書がよくわかる本(ソーテック社)他。



村田 栄樹
さん

2014年3月MBA本科コース修了
いろは税理士法人 代表税理士
株式会社スタンダードマーク 取締役

学びが公私に活きる。仕事の成果、時間の使い方、人脈形成が図れ、充実した生活基盤が創れる。

本大学院を選んだ理由を教えてください

第一にいわゆる大企業の管理職向けのMBAではなく、起業家のためのMBAであること。もう一つは人間学を重視していることが大きかったです。また、当時時間的な制約があり、出張も多いということで、オンラインで受講できてスマートフォンにも対応しているのが大変有利難かったです。

入学後の変化を教えてください

以前よりも飛躍的に時間の使い方、やりくりの仕方が上手になってきて、目標達成のために時間管理をきちんとするようになりました。特に子どもができるからは時間的にシビアな状況ですが、そういう中でも継続してやり抜くということ、そのための仕組み作りを行っています。また、仕事の面では、事業戦略を考えるような仕事、自分が思い描いていた仕事をやれるようになっています。

PROFILE
IT業界でシステムエンジニア、プロジェクトマネージャー、プリセールス、コンサルタントを経験。
現在は育児をしながら、外資系最大手企業の日本法人でコンサルティングサービスを提供する部門のビジネス推進マネージャーを務める。



石黒 陽子
さん

2012年3月MBA本科コース修了
Cisco Systems G. K. Business Enablement Manager

世界のどこにいても求められる
人材でいたい。

本大学院に興味を持ったきっかけは何でしたか

人間学に重きを置いていた点に魅力を感じました。また講師陣に第一線で活躍されている方が多くいらっしゃったのが決め手でした。

MBAを取得してどんな未来を実現したいですか

日本の女性と高齢者に秘める素晴らしい才能や技能を社会に還元するオペレーションを構築したいです。もう一つは、世界の、特に発展途上国への望ましい環境でない境遇で生活をしている子供たちに、「心身の平穏」と「学びの場」を提供できるような団体のオペレーションをサポートしたいです。

まずは今のこの瞬間と、自分を取り巻く人々、そして先人に感謝し、熱意と意気込みを絶やすことないよう静かに自分の心に灯しながら、SBIでの学びを社会に還元していきたいと思います。

PROFILE
白百合女子大学卒業後、マレーシア航空客室乗務員やデロイト トーマツ税理士法人(マレーシア)を経て、現在は日系飲料メーカー会社マレーシア法人の経営戦略ファイナンスマネージャーとしてご活躍。



相山 ちひろ
さん

2020年秋学期Pre-MBA受講 2021年4月MBA本科コース入学
日系飲料メーカー 経営戦略ファイナンスマネージャー



片岡 将
さん

2020年10月MBA本科コース入学
日野レッドドルフィンズ プロラグビー選手